

立入が丘小学校3年生「総合的な学習の時間（火まつり調査隊）」の質問と回答

NO. 1

質問：住吉神社は、何年ぐらい前に建てられましたか。

回答：住吉神社は、西暦739年（聖武天皇の天平11年）の春に物部道足（もののべみちたり）が建てました。今から1280年前の事です。

NO. 2

質問：なぜ住吉神社という名前がついたのですか。

回答：住吉大社がある大阪市住吉区の地名から住吉神社という名前がついています。

また、住吉三神（すみよしさんじん）を祀る（まつる）神社でもあるので、住吉神社という名前がついています。

なお、この住吉三神とは、表筒男命（うわつつのおのみこと）・中筒男命（なかつつのおのみこと）・底筒男命（そこつつのおのみこと）の三つの神の事です。

そして、水の神も祀っていて、「住吉」という神社名も澄んだきれいな水という意味からきています

NO. 3

質問：火まつりは、どんなお祭りですか。

回答：浮気町の住吉神社で毎年1月の第2土曜日に実施する火祭りで、鎌倉時代に土御門天皇の病気を治すために大蛇（大きなへび）を退治したという伝説により、800年以上続く伝統行事であります。また、滋賀県の無形民俗文化財に指定されています。

もう少し詳しく説明しますと

○浮気の火祭りは、昔々、土御門天皇という人がいて、ある時この人が病気になって困っていました。村の人も土御門天皇がなぜ病気になったのか、みんなで考えました。

○すると、一人の村人が病気になったのは、近くに大蛇（大きなへび）がいるからだと言いました。

そして、その大蛇を焼き払って退治をしようという事に決まりました。

○ある日、大蛇を焼き払ったら、土御門天皇の病気が治りました。

そして、焼き払った大蛇の頭は浮気に落ち、胴体は勝部に落ちたと言われていま

す。

○だから、浮気の松明は、大蛇の頭、そして勝部の松明は、胴体を形どっています。

その松明に無病息災や家内安全を祈って、火まつりの日の夜に燃やす事を今も続けています。

NO. 4

質問：火まつりは、いつから行われているのですか。

回答：約800年前から行われています。

大昔の事なのであり、はっきりと書いたものがないから、確かな事は分かりません。

NO. 5

質問：火まつりは、なぜ1月に行われるのですか。

回答：昔から、毎年正月の初めに病気や不幸な出来事を除き、無病息災や家内安全を祈って、新しい年を迎えるため1月に火まつりを行って来た。

NO. 6

質問：火まつりは、なぜ行われているのですか。

回答：800年以上続いている立派な浮気の伝統行事（滋賀県無形民俗文化財）を後世に残し、次世代へ引き継ぐために行われています。

また、家内安全や無病息災等をお祈りするためにも今後も続けていきます。

NO. 7

質問：火まつりは、どれぐらいの人が来ますか。

回答：火まつりは、午前中に式典、午後1時から松明の奉納、そして午後2時から神社の境内で「綿菓子」と「ポップコーン」を無料配布しています。そして、午後7時30分頃には松明が点火します。これらの全ての参加者を合計すると、300人～400人位です。

NO. 8

質問：オオムカデ伝説とは何ですか。

回答：「ムカデ山伝説」と言われています。ムカデ山とは「野洲の三上山の事です」。

藤原秀郷別名俵籐太は、平安時代中期の関東の武将（武士の大將）であり、弓矢の名手でもあった人です。そして、あの平将門（たいらのまさかど）を討ったことで有名な武将です。そんな俵籐太がある日、瀬田の唐橋を渡ろうとした時、橋の上に人間の五倍もある大蛇が横たわっていたのです。皆が怯（おび）えて橋が渡れない中、俵籐太は、「こんなところに寝そべるとは、邪魔なやつだ」と、悠々と大蛇を踏んで渡りました。

すると、後ろから呼び止める者がいます。「あなたさまにぜひお願いしたいことがございます」俵籐太が振り返ると、大蛇の姿はなく、代わりに老人が立っていました。

実はその老人が大蛇に化けていたのです。「お願いがあります。実は三上山を七巻半まいている大ムカデが琵琶湖に来て荒らすのです。どうか退治してもらえませんか？」「三上山を七巻半もまいている大ムカデなので、とても手に負えないのです。どうかお願いします。退治して下さい！」そうやって拝むようお願いされた俵籐太は、「そんなに困っているのなら退治してあげよう」と言いました。そのうちに大ムカデがやってきました。「よし、では退治しよう」と言って籐太は、弓と3本の矢を持って立ち上がりました。1本目、矢が「カチーン！」となって跳ね返りました。2本目、同じくはじかれます。「どうしたものか・・・そうだ！あれだ！」と言って、最後の3本目、祈りを込めて矢につばを吐き、眉間（みけん：まゆ毛とまゆげの間）を狙って力いっぱい打ちました。矢は大ムカデの額に命中、食い込んで叫び声をあげながら倒れました。「ありがとうございます。これはお礼です。」龍神（竜の神様）は米俵や釣鐘などの宝物を俵籐太に贈りました。

「ムカデ山伝説」は、浮気の火まつりとは全然関係はありません。
両方に大蛇が出てくるので、間違う人がいます。

◇「火まつり」は、土御門天皇の病気を治すために大蛇を退治したという伝説であります。

◇そして、「ムカデ山伝説」は、俵籐太が三上山を七巻半も巻いている大ムカデを退治したという伝説です。

◇土御門天皇と俵籐太（藤原秀郷）は、生きている時代が違います。

土御門天皇は、1195年に生まれて1231年に死亡

俵籐太（藤原秀郷）は、生まれたのは不詳で991年に死亡

※俵籐太（藤原秀郷）が991年に死亡して、204年後の1195年に土御門天皇が生まれている